

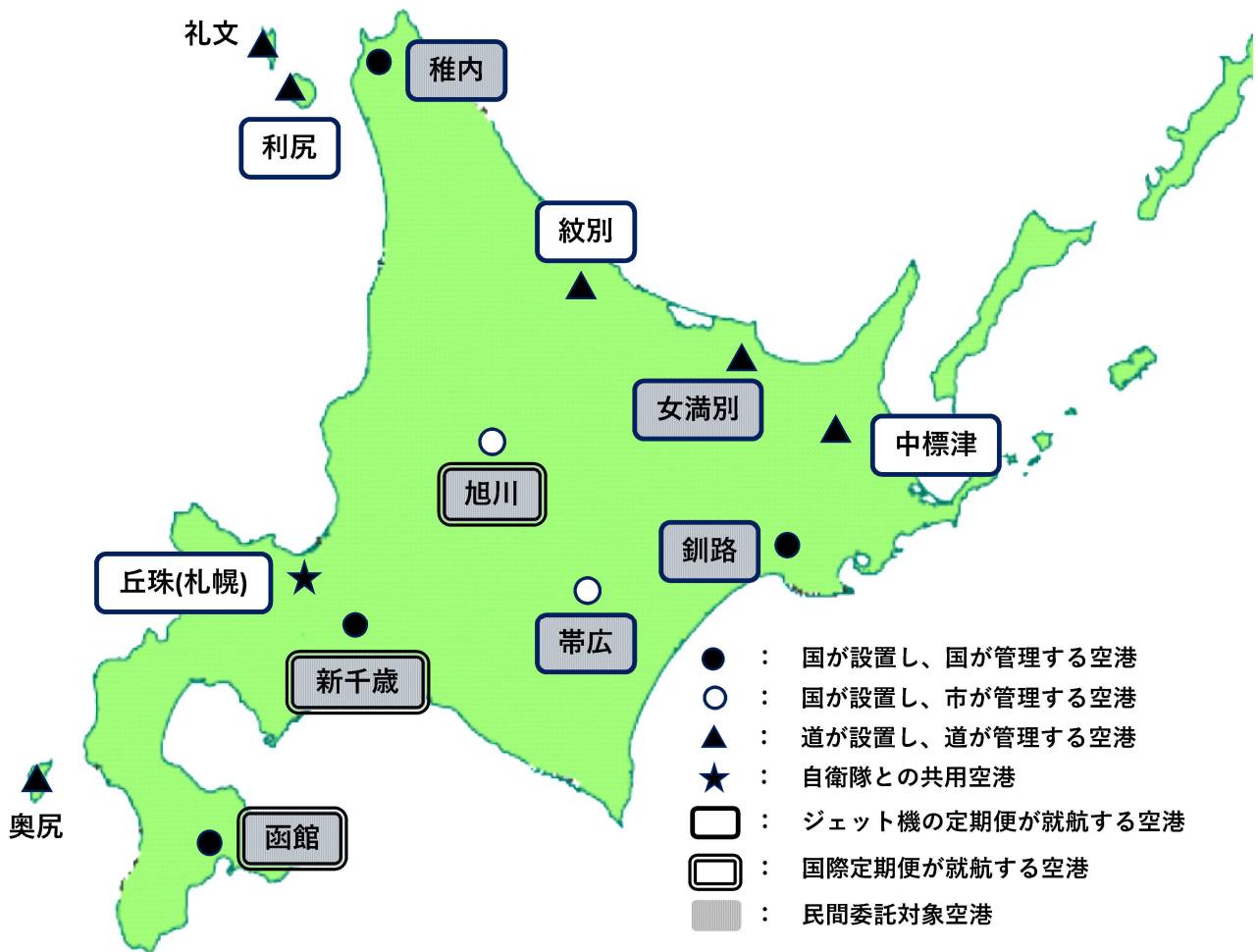
## 2 道内空港の機能強化

北海道には、国（国土交通省）が設置・管理する空港が4、国が設置し地元市が管理する空港が2、道が設置・管理する空港が6、防衛省との共用空港が1で、合計13の空港があります。

現在、北海道と国内外とを結ぶ航空ネットワークの充実・強化を図るため、空港施設の整備・改良等が進められていますが、より一層、航空機の安全・安定運航の確保や利用者の利便性向上が図られるよう、国や関係機関に道内空港の機能強化を要請していくとともに、道内13空港の連携を強化する取組を進めていきます。

また、丘珠空港では、空港と周辺住民が共存し、道内航空ネットワークの拠点空港としての機能を今後とも確保するため、札幌市が行う空港周辺の緑地整備事業に対し補助を行います。

### 道内空港の状況



空港名	滑走路	道外路線	道内路線
新千歳	A : 3,000m B : 3,000m	羽田、成田、伊丹、関西、中部、青森、秋田、花巻、仙台、福島、山形、茨城、静岡、松本、新潟、富山、小松、神戸、岡山、広島、出雲、徳島、福岡、那覇	稚内、釧路、函館、女満別、中標津、利尻
稚内	2,200m	羽田	新千歳
釧路	2,500m	羽田、中部、関西、成田	新千歳、丘珠
函館	3,000m	羽田、伊丹、中部	新千歳、丘珠、奥尻
旭川	2,500m	羽田、伊丹、中部	
帯広	2,500m	羽田、中部	
女満別	2,500m	羽田、伊丹、関西、中部、成田	新千歳、丘珠
中標津	2,000m	羽田	新千歳
紋別	2,000m	羽田	
利尻	1,800m		新千歳、丘珠
礼文	800m		
奥尻	1,500m		函館、丘珠
丘珠(札幌)	1,500m	三沢、静岡、松本、 <b>小牧</b>	釧路、函館、利尻、女満別、奥尻

令和4年度実績北海道調べ

### 3 新千歳空港の国際拠点空港化の推進

北海道の空の玄関口である新千歳空港は、国内外から年間2,460万人（2019年）にご利用いただくなど本道経済の活性化に大きな役割を果たしております。

新千歳空港における国際定期便は、東アジアとを結ぶ路線を中心に24路線（令和2年2月時点）ありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新千歳空港発着の国際線は、2年以上運休となりました。その後、国の段階的な水際措置の緩和を受け、昨年7月以降東アジアや東南アジアとの路線が順次再開したほか、今年7月には中国との路線が再開するなど回復が進んでおります。

海外からの観光客誘致などを推進し北海道経済の活性化につなげるため、北海道エアポートをはじめ、自治体や経済界等とも連携しながら、国際路線の誘致を進めるなど、北海道と世界を結ぶ国際的な交通ネットワークの形成に向けて取り組んでいきます

#### (1) 国際航空定期便の誘致

北海道への観光客の増加が見込まれる東アジアや東南アジアのほか、長距離路線による新たな地域とのネットワーク形成に向けた新規誘致の取組を進めていきます。

#### (2) 空港施設・機能の整備・充実

今後の国際航空路線の回復を見据え、国際線利用者の受入体制整備など新千歳空港の機能強化について、国などに働きかけを行うとともに、二次交通アクセスの充実、長距離路線の安定運航に必要な滑走路の整備に向けた検討など、空港施設・機能の充実に向けた検討・取組を進めていきます。

### (3) 空港人材の確保

北海道エアポートが設置する「新千歳空港地上支援業務対策ワーキンググループ」に参画し、関係事業者等と緊密に連携しながら、空港人材の確保に向けて取り組むなど、地上支援体制の維持・強化等の受入体制整備を進めています。

### (4) 一部外国航空会社の航空機の乗り入れ制限の緩和

新千歳空港は航空自衛隊千歳基地と隣接しており、一部外国航空会社の航空機の乗り入れについては、曜日によっては特定の時間帯に限られていることから、国に働きかけを行うなど、乗り入れ制限の緩和に向けた取組を進めています。

### (5) 24時間運用に係る空港周辺対策

新千歳空港の国際拠点空港化を推進する上で必要な24時間運用に関し、道と関係市、関係地域住民が合意し、平成27年10月に深夜・早朝時間帯の発着枠が、それまでの6枠から30枠に拡大されました。

拡大された発着枠の運用に伴い必要となる、空港周辺地域における住宅防音対策と地域振興対策を実施するとともに、国際便やLCCなどの誘致に向けた取組を進めます。

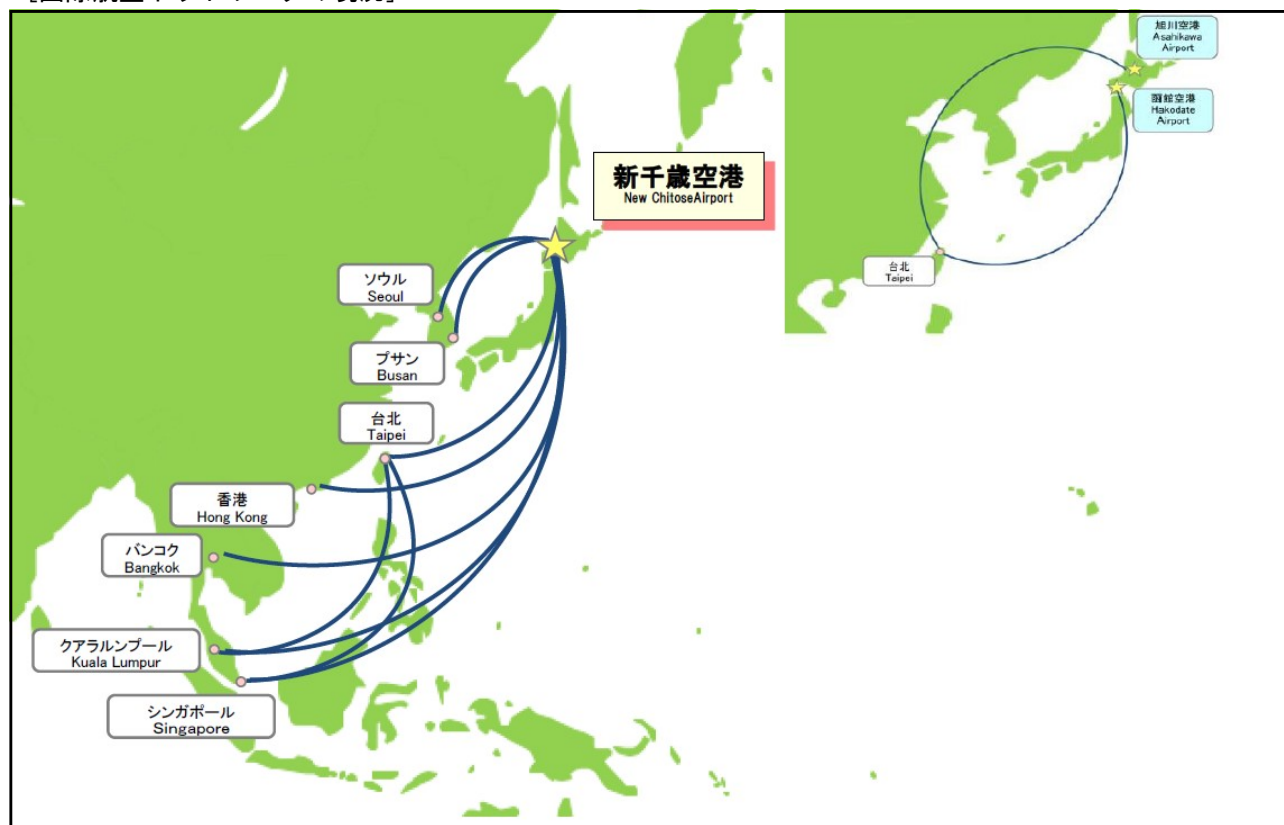
## 4 地方空港の国際化

新千歳以外の地方空港では、函館空港、旭川空港に国際定期便が就航するほか、他の空港においても国際チャーター便が運航されておりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、長期にわたり運休となっていましたが、昨年10月から地方公共団体の協力を得つつ、受入に係る準備が整い次第、順次国際線の受入を再開することが可能となったことを受け、今年5月に函館・旭川空港において、台北線が再開しました。

海外からの観光客誘致などを推進し、地域経済の活性化を図るため、北海道エアポートや空港所在自治体などと連携しながら、国際航空路線の誘致を進めるとともに、感染症にも対応したC I Q体制の整備に向けた取組を国に要望するなど、道内空港の国際化を進めています。

### [国際航空ネットワークの現況]



路線(route)		航空会社(airline)	往復/週(w)	
新千歳 (CTS)	ソウル	ICN	大韓航空	7
			ティーウェイ航空	7
			アジアナ航空	5
			ジェジュ航空	14
			ジンエアー	7
	釜山	PUS	エアプサン	3
			ジンエアー	0
	台北	TPE	チャイナエアライン	7
			タイガーエア台湾【新】	7
			スターラックス航空【新】	7
エバー航空			7	

路線(route)		航空会社(airline)	往復/週(w)	
新千歳 (CTS)	香港	HKG	香港航空	3
			キャセイパシフィック航空	5
	シンガポール (台北経由)	SIN (TPE)	スクート	4
			シンガポール (直行便)	SIN
	バンコク	BKK	タイ・エアアジアX	0
			タイ国際航空	0
	クアラルンプール (台北経由)	KUL (TPE)	パティックエア・マレーシア	0
函館 (HKD)	台北	TPE	タイガーエア台湾	2
旭川 (AKJ)	台北	TPE	タイガーエア台湾	1

(令和5年6月1日現在 航空課調べ)

## 5 道内空港の運営に係る民間委託の推進

道内7空港（新千歳、稚内、函館、釧路、旭川、帯広、女満別）の一括民間委託を通じて、道内空港の機能強化や本道の航空ネットワークの充実・強化を図るとともに、こうした取組を広域観光の振興や地域経済の活性化につなげていくため、空港運営事業者である北海道エアポート（株）、国、関係自治体など地域の関係者はもとより、民間委託を行わない6空港（丘珠、中標津、紋別、奥尻、利尻、礼文）とも連携し、取組を進めます。

また、道管理空港である女満別空港の民間委託を円滑に進めます。

## 6 港湾機能の充実・強化

港湾管理者である市町等と連携し、道内港湾の国際・国内物流の強化による港湾機能の充実を図るなど利用促進に向けた取組を推進します。

### ◇ 港湾整備



苫小牧港 複合一貫輸送ターミナル（西港区）

## 7 道管理空港の脱炭素化の推進

ゼロカーボン北海道の実現に向け、道管理空港において、空港施設の省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入などを推進していくための「空港脱炭素化推進計画」の策定を検討するとともに、航空灯火のLED化などの脱炭素化の取組を進めます。

# 第19 部行政の総合調整等

<総務課>

## 1 部行政の企画及び総合調整

総合政策部の行政の企画及び総合調整を行います。

## 2 全国知事会等の対応

地方自治の円滑な運営と進展を図るため、他都府県との連絡調整を緊密にして、全国知事会及び北海道東北地方知事会等での議論や政策提言など、関係部と共に積極的に対応します。